

会 告

公開講演会開催のお知らせ

ソ連科学アカデミー会員ザマーリン博士他 8 名の学術使節団が 5 月 13 日来日、約 2 週間滞在されます。本会ではこの機会にザマーリン氏ならびにシロタ氏に特にお願いして下記の通り公開講演会を開催致すことになりましたので多数お誘い合わせの上、ご来場下さるようご案内申し上げます。

記

日 時 昭和44年5月17日(土) 13:00~16:00

会 場 経団連会館 国際会議場(11階)(東京都千代田区大手町 1-15 経団連会館)

題目および 講演者 1) About a Steel Deoxidation A. M. ザマーリン(ソ連科学アカデミー会員)

2) Relationship between Electron Density Distribution and Structure of Crystals N. N. シロタ(ソ連科学アカデミー会員)

**連絡先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館(3階)
日本鉄鋼協会(Tel. 03-279-6021)**

第4回西山記念技術講座開催のお知らせ

— 鉄鋼の凝固現象 —

本会では、下記により第4回西山記念技術講座を開催いたします。おさそいあわせのうえ、多数ご来聴下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 期 日 昭和44年6月3日(火), 4日(水)

**2. 会 場 農協ホール(東京都千代田区大手町1-5)(国電東京駅丸の内北口下車徒歩約10分農協ビル9階)
地下鉄丸の内線・東西線大手町駅下車**

3. プログラム 第1日(6月3日(火) 9:30~15:30)

9:30 凝固に関する基礎的諸問題 北海道大学 高橋忠義君

13:00 リムド鋼・セミキルド鋼の凝固組織 富士製鐵 浅野鋼一君

第2日(5月4日(水) 9:30~15:30)

9:30 連続铸造における铸片の凝固 住友金属工業 牛島清人君

13:00 特殊造塊法 日本製鋼所 中川義隆君

4. 聴講無料 事前の申し込みは不要です。

5. テキスト代 1000円(各講師の別刷は1部300円にて後日頒布いたします。)

6. 講座概要

(1) 凝固に関する基礎的諸問題

はじめに異質核生成を、ついで凝固過程での結晶の分断・遊離、消失などの挙動に具体的な検討を加えている最近の研究をのべ、熱伝導では固一液相割合の変化を考慮した解析を、また固一液相界面での溶質分布についてはこれまでの基礎的な解析結果を整理し、铸塊凝固への応用上の問題点にもふれる。さらに凝固遷移層の凝固機構と偏析に関する実験と理論的検討をのべ、おわりにマクロ偏析におよぼす熱収縮と凝固収縮について解説する。

(2) リムド鋼・セミキルド鋼の凝固組織

本講座は大きくわけて、3章から成っている。最初に実用鋼塊における凝固速度を展望し、種々の製鋼造塊条件との関係について述べた。次にリムド鋼の凝固に伴う諸現象、すなわち、リミングアクション、気泡の形成、偏析などについて、従来の諸文献をもとにして、諸条件との関係を明らかにした。さらに、セミキルド鋼の凝固時の諸現象についても、同様にして製造条件との関連を明らかにし、今後の問題点について述べている。

(3) 連続铸造における铸片の凝固

鋼の連続铸造の铸型内、スプレイ帯、放冷帶における铸片の冷却と凝固について従来の研究結果に基づいて考察した。铸型内における冷却は铸片の表面層の品質を決定するという意味で重要であり、スプレイ帯での冷却は連続铸造における铸片の冷却の過半を支配するという意味において重要であることを示した。また铸片の凝固速度の大要をとりまとめ、設備の設計と操業の基本条件を決定する要因としての重要性を明らかにした。

(4) 特殊造塊法

“鋼の凝固そのものを何らかの方法により変化をあたえ凝固温度、凝固速度、凝固方向などをコンとロールして歩留りと品質との良好な鋼塊を作る造塊法”を特殊造塊法と定義し、主として大型キルド鋼塊の特殊造塊法について述べた。

記述した方法は連続铸造法、真空造塊法、消耗電極式アーク溶解法、エレクトロスラグ溶解法、底部冷却凝固法、圧力铸造法、加圧凝固法、加速凝固法、溶鋼の直接鍛造法、ガス吹込攪拌凝固法、溶鋼の回転攪拌凝固法、振動凝固法、超音波铸造法、撒核凝固法、およびその他の特殊造塊法である。

日本鉄鋼協会役員

さる3月28日開催の第54回通常総会において、理事、監事および評議員の選挙が行なわれました結果、本年度の本会役員は次のとおり選任されました。

(敬称略)

九州支部総会および渡辺義介記念講演会のお知らせ

— 5 月 15 日 —

本会九州支部では下記により支部総会および第9回渡辺義介記念講演会を開催いたしますので、多数参加下さるようご案内いたします。

記

日 時 昭和44年5月15日(木) 13:00~15:30

会 場 九州大学工学部鉄鋼冶金講義室

1. 支部総会 13:00~13:30
2. 渡辺義介記念講演 13:30~15:30

演題 わが国の近年における非鉄精錬の進歩

講師 九州大学工学部教授 工博 伊藤 尚氏

第16回腐食防食討論会のお知らせ

期 日 昭和44年10月14日(火)~17日(金)内14日~16日 討論会

場 所 金沢大学工学部(金沢市小立野2丁目40-20)

討 論 会

I. 主題 (1) 応力腐食割れ

(2) 最近の防食法(高熱防食を含む)

II. 一般 主題以外広く腐食防食と関連ある題目で討論の対象となるもる。

III. 特別講演 主題に関する講師講演および討論

懇親会 昭和44年10月15日講演会終了後(於 金沢市香林坊, 仙宝閣)

見学会 日本硬質陶器、小松製作所(栗津、小松工場)10月17日 50名以内、ただし同業者の場合見学をご遠慮願うこともありますからご了承下さい。

講演申込 (a) 題目 (b) 発表者氏名(講演者に○印), 勤務先と所在地, (c) 400字以内の概要を添えて7月15日までに申し込むこと。

講演要旨提出

申込受理と同時に所定の原稿用紙をお送りしますから1題目につき5000字以内(図、表を含む、刷り上り4ページ以内)に必ず墨書の上8月末日までに提出して下さい。講演15分、討論15分の予定。

参加申込 講演者もそれ以外の参加希望者も8月末日までに必要な会費を払込みの上参加申込みの登録を受けること。

会 費 (1) 参加登録料1名 500円 (2) 講演要旨集 1100円(当日1300円) (3) 懇親会費 1500円
(4) 見学会 700円

申込先 金沢市小立野2丁目40-20 金沢大学工学部機械工学科内
〒920 Tel. 61-2101~6

第16回腐食防食討論会実行委員長 関 文男宛

なお送金振替貯金ご利用の方は下記の通りお願いします。

口座番号: 金沢 9785

宛名: 第16回腐食防食討論会 実行委員長 関 文男

金沢市小立野2丁目40-20 金沢大学工学部内 〒920 Tel. (0762) 61-2101~6

日本工学会第25回見学会の催し

日本工学会主催で、下記により見学会を催します。

記

日 時 6月12日(木) 13:30~15:00

見学先 国立国会図書館 千代田区永田町1-10-1に新装なり

内容も充実した国会図書館を見学することにしました。

定 員 100名に限り先着順に参加証をお送りいたします。

集 合 当日 13:30に国立国会図書館正面南口に集合のこと。

(地下鉄丸の内線国會議事堂前下車、徒歩5~6分、国會議事堂正面に向って右手)

申込期限 5月31日はがきに第25回見学会申込と書き、住所、氏名、所属学会、

勤務先を書き、日本工学会宛申込むこと。

東京都港区芝琴平町35 船舶振興ビル 日本造船学会内

日本工学会(Tel. 502-2049)

第13回材料研究連合講演会講演募集

共 催	日本学術会議材料研究連絡委員会、日本材料学会、日本材料科学会、日本材料強度学会、日本鉄鋼協会ほか 19 学協会
幹事学会	軽金属学会、土木学会、日本化学会、日本機械学会、日本金属学会、日本建築学会、日本材料学会
開催日	昭和44年9月1日（月）2日（火）
会場	東京都内
講演申込	<p>1. 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み、参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込むこと。</p> <p>2. 講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。なお、研究内容は材料の諸物性、諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する応用研究を包含する。</p> <p>なお、今回は後記主題によるシンポジウムをも開催するので、多数のご参加を期待する。</p> <p>3. 講演時間は約 20 分（討論を含む）の予定。</p> <p>4. 講演の採択などは材料研究連合講演会運営委員会に一任されたい。</p> <p>5. 申込用紙は B5 判とし、次の事項を必ず記載すること。</p> <p>a) 講演題目、b) 條款約 200 字、c) 講演部門名、d) 講演ならびに連名者の各氏名、勤務先、通信先、学会員資格、年令（連名の場合は登壇者に○印をつけること）e) 講演題目、氏名、勤務先には英文を付記すること。f) スライド使用の有無（大きさは 35 mm）、g) 欧文論文集（付記参照）へ投稿希望の有無</p>
申込締切	昭和44年 6 月 10 日（火）
講演前刷	聴講者のテキストとして、あわせて講演時間の短縮、掛図などの節約のため、講演者全部の講演前刷を作るので、講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ（参加学会会員外は、申込んだ幹事学会へ）提出すること。
	<p>a) 講演前刷原稿提出期日 7 月 19 日（土）</p> <p>b) 前刷原稿は所定の原稿用紙 2 枚以内に（図、表、写真を含めて邦文で約 2,600 字）明りように墨書きし、なるべく余白をさけるように留意のこと。</p> <p>c) 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り、所定用紙以外に書いた原稿は受け付けない。</p>
講演部門	<p>I Micro-structure of Materials (微視的構造)</p> <p>II Mechanical Properties and Behavior of Materials (材料の力学的性質と挙動)</p> <p>III Physical Properties of Materials (材料の物理的性質)</p> <p>IV Chemical Properties of Materials (材料の化学的性質)</p> <p>V Strength of Structures (構造物強度)</p> <p>VI Working and Processing of Materials (材料の加工と処理)</p> <p>VII Special Problems (その他)</p>

《シンポジウム》

下記によりシンポジウムを開催いたしますので、できるだけ多くの方々の講演を募集いたします。ふるつてご応募ください。

一般討論：主題(I)「疲労におよぼす環境効果」 （講演15分・討論15分）
主題(II)「大型材料の基礎研究」

(註) 本シンポジウムへの講演申込は、主題(I)については講演部門V(シンポジウム)、主題(II)についてはV(シンポジウム)と明記し、他の申込要領、原稿作成等については、一般講演と同様である。

[付記]

- 発表論文は Proceedings of the 13th Japan Congress on Materials Research に載せ、諸外国に頒布の予定である。
- 本論文集に掲載される論文は今回発表されたもので、欧文で未発表のものに限る。
- 投稿希望者は別に送られる所定原稿用紙に執筆し、講演会当日までに、日本材料学会会員付 材料研究連合講演会論文集刊行会（京都市左京区吉田泉殿町1の101 Tel. (075) 761-5321）に提出すること。
- 当日以降の提出原稿は受理しない。また、不備な原稿は返却することがある。なお、原稿は当日、会場でも受けます。

鉄鋼熱処理加工のJISの使い方説明会

1. 主 旨 鉄鋼熱処理加工技術に関するJISを熱処理加工外注発注側企業および熱処理工程を有する製造企業に普及し、熱処理加工の関連分野の技術水準と経済性の向上に寄与するためこの説明会を開催いたします。多数ご参加下さるようおすすめいたします。
2. 主 催 日本規格協会
3. 後 援 工業技術院 開催地区各通商産業局
4. 協 賛 日本鉄鋼協会、ほか
5. 開催地および時期

東京 昭和44年7月3日(木), 4日(金)
 東京都港区赤坂 4-1-24 日本規格協会6階講堂
 名古屋 昭和44年7月8日(火), 9日(水)
 名古屋市中区丸の内 3-1 愛知県産業貿易館
 大阪 昭和44年7月9日(水), 10日(木)
 大阪市東区安土町 2-1 安土野村ビル内日本規格協会関西支部JISホール
 広島 昭和44年7月11日(金), 12日(土)
 広島市基町 5~44 広島商工会議所ビル2階202号室
 福岡 昭和44年7月14日(月), 15日(火)
 福岡市(未定 3ヶ月前決定)

6. プログラム

	時 間	演 題	講 師
第 1 日	9:30~11:30	鉄鋼熱処理関係JISの使い方について	工業技術院標準部機械規格課
	11:00~12:30	鉄鋼熱処理の概要について (熱処理技術の大要・発注者側の心構)	八幡製鉄(株) 大和久 重雄
	13:30~14:30	JIS B 6912 鉄鋼の高周波焼入焼もどし加工について	東京) 高周波熱鍊(株) 名古屋) 嵯峨敏郎 大阪) 嵯峨敏郎 広島) 松本修 福岡)
第 2 日	14:30~16:30	JIS B 6911 鉄鋼の焼ならしおよび焼なまし加工 JIS B 6913 鉄鋼の焼入焼もどし加工について	東京) (株)丸源製鋸所 堀内深志 名古屋) (株)東洋金属熱鍊工業所 三木泰 大阪) 岐阜) 岐阜) 福岡)
	13:30~16:30	熱処理加工品のかたさの測定および かたさ試験機の管理について	工業技術院計量研究所 矢野宏

7. 使用テキスト

- JIS B 6911 鉄鋼の焼ならしおよび焼なまし加工 43. 3. 1 制定
 JIS B 6912 鉄鋼の高周波焼入焼もどし加工 43. 3. 1 ''
 JIS B 6913 鉄鋼の焼入焼もどし加工 44. 3 制定予定

講師執筆テキスト

8. 聴 講 無料

9. テキスト代 1000円